



問 危険な交差点から子どもたちを守れ

長谷川 公成 議員

Q 星ヶ丘保育園横の交差点について、何度も質問してきたが、地元住民や通学路にしている子どもたちの保護者からも、信号機設置の要望が高まっている。信号設置に進展がないのなら、運転手の抑止力や地域の安全性を高めるために、交差点内に防犯カメラや、交通カメラの設置ができないか、市の考えを伺う。

A 部長 安全対策として、梅香苑団地から高雄中央通線へ向かう急な下り坂については、黄色の滑り止め舗装及び減速表示や交差点注意の路面標示を行っていきます。公安委員会では、一時停止や横断歩道ありの看板の設置、時速30kmの速度規制を行い、早急な対応として高雄中央通線の優先をわかりやすくするため、センターラインの白線を交差点内まで明示しています。交通カメラは交通渋滞が頻繁に発生する箇所や冠水の危険がある箇所を設置しており、この交差点での設置は難しいと考えます。



質問項目

- ◇星ヶ丘保育園横交差点について
- ◇平成25年9月議会で質問をしたゴミ袋の中サイズについて



問 給食のアンケート調査の実施を

原田 久美子 議員

Q 学校給食について保護者へのアンケート調査を実施し、約10年前の方針であるランチサービスが今でも妥当なのか、それとも完全給食を考えていく時期にあるのか、早急に見きわめる時期ではないのか。小学校の給食に係る予算と同じくらい中学校に予算をかけ、中学校も完全給食を目指すべきと考えるが見解を伺う。

A 部長 中学校ランチサービス事業は大宰府市中学校給食・少子高齢化問題特別委員会での調査、検討され、その実施方法については生徒、教師、保護者においても意見が分かれるところであり、当委員会としては全会一致で選択方式による給食を導入すべきであるとの報告を受け、平成18年12月から導入した制度です。弁当を持参できないときには、安全・安心で栄養バランスのとれたランチサービスをコンセプトに本事業の啓発、浸透化に努めてまいりたいと考えています。



質問項目

- ◇学校給食について
- ◇AEDの普及について



問 地方創生戦略の推進は

小島 真由美 議員

Q 政府は昨年11月に成立した、まち・ひと・しごと創生法に

基づき、日本全体の人口減少を示した長期ビジョンと地方創生のための今後5年間の総合戦略を閣議決定した。2014年度補正予算の目玉である地域住民生活等緊急支援のための交付金は、景気を下支えする経済対策の一環で、地域消費喚起・生活支援型2500億円・地方創生先行型1700億円の2種類が用意されている。地方創生に向けた本市の取り組みについて2点伺う。
①景気刺激策としてプレミアム商品券の発行を
②地方版総合戦略の策定予定と地方創生先行型交付金活用の方角性は。

A 市長 今回の地方創生について

は、太宰府市で仕事をつくり、人をつくり、まちをつくるという理にかなった施策です。この機会を逃すことなく健康づくりや子育て支援、観光支援など実情にあつた地方版の総合戦略を策定します。

部長 プレミアム商品券は、プレミアム率20%にしたお買物券2億円とプレミアム率10%の住宅リ

フォーム工事券1億円を予定しています。低所得や多子世帯などへの生活支援として、商品券の配布を検討しています。

質問項目

◇地方創生戦略の推進について



問 太宰府の魅力をもっと国内外へ

陶山 良尚 議員

Q ①総務省と観光庁は観光立国

実現に向け、無料公衆無線LANの整備を積極的に進めている。本市においても、外国人来訪者を含め、情報発信や観光地の説明、災害時の避難誘導にも役立つと考える。今後、前向きな検討が必要と思うが市の考えは。

②積極的な観光政策として、市が独自にフィルムコミッションを設立することで、「おもてなし」やまちづくりへの住民意識も高まり、経済効果も生まれると考える。若手職員で市の魅力を発信する組織の設置を望むが、市の考えは。

A ①ラグビーワールドカップ、東京オリンピックなどに向け外国人観光客への対応として整備が必要とされています。市としても利便性の向上、観光施設の利用増進のため、地方創生先行型交付金を活用し、太宰府館、観光案内所などへの設置を検討しています。

②福岡都市圏広域行政推進協議会などで構成される福岡フィルムコミッションと連携し、取り組み、昨年は2件のドラマロケなど実施されています。今後は、事業をとりまく情勢などを見ながら検討課題とさせていただきます。



質問項目

◇観光政策について



問 積極的なスポーツ振興を

後藤 邦晴 議員

Q 今後の太宰府市のスポーツ振興をどのような方向性をもってどのような体制を進めていかれるのか。また、次世代へとつなぐスポーツと健康に関する未来構想について伺う。

A 市長 昨年の4月に機構改革を行い、地域健康部を新設し、関係所管の連携をした取り組みを現在、実施しています。体制としては、地域健康部を核として全庁的な広がりを持たせるのと同時に、これまでの太宰府市文化スポーツ振興財団を大きく見直し、文化、スポーツ等に関する専門性を高め、幅広い事業展開ができるように充実強化、再編をしていきたいと考えています。今後、生き生きとしたスポーツライフの創造を基本理念として、地域スポーツ、競技スポーツあるいは青少年のスポーツの3つの領域において、校区自治協議会、体



育協会、太宰府よか倶楽部、スポーツ少年団、学校等のネットワーキ化を図り、太宰府市の生涯スポーツの推進に全力を挙げて今後も取り組んでいきたいと考えています。

質問項目

◇スポーツ振興のあり方と未来構想について



問 犯罪抑止力の向上を

上 疆 議員

Q 防犯カメラの増設について3点伺う。①昨年末に西鉄都府楼前駅の駐輪場で新車の自転車盗難にあつており、今後の再発を防止、抑制するために防犯カメラの設置を強く要望するが見解は。②昨年6月議会の一般質問において、東中学校通学路の防犯カメラ設置を要請したが、新年度予算案では、100万円しか計上されていないが、何カ所設置する予定か。③市民の安全・安心のまちづくりの観点から、防犯カメラの設置は急務であり、年間10カ所程度増設、予算1000万円は必要ではないか。

A 部長 ①防犯カメラは、毎年設置しており、今年度も西鉄都府楼前駅のロウタリーに1基2台を設置しました。②新年度予算における防犯カメラの設置箇所数ですが、予算額100万円で1カ所の設置を予定しております。③今後の増設については、筑紫野警察署と協議しながら、毎年1カ所ずつの増設を考えています。

質問項目

◇防犯カメラの増設について





問 市の農業を守れるのか

渡邊 美穂 議員

Q 国の食料自給率は3割程度

で、市においては国の率よりさらに低いと思われる。自治体において漁業、農業の第一次産業を守らなければ、食糧生産現場が壊滅状態になると考えられる。市として若い世代の後継者を育成することを含め具体的な政策を考えているのか伺う。

また、農業委員会に女性がいらない。農業の担い手には女性もおり、その視点が必要になることがある。

今後の対応について伺う。

A 部長 太宰府市は都市型近郊農業として、農家のほとんどが兼業で農業を営んでいる状況です。

農業経営の安定化政策の根幹となる経営所得安定対策の活用促進は、作付拡大及び農家の経営支援を行うことで農家の所得向上につなげます。また筑紫地区営農推進協議会では、ちくし農業塾、営農経営者座談会を開催し、地域の課題等を検討したいと考えています。

女性農業委員の登用は、平成25年の改選時協議しましたが、登用に至っていません。今後とも地域の協議を行ってまいります。



質問項目

- ◇本市の農業政策について
- ◇榎寺地域の雨水排水計画について
- ◇中学校のクラブ活動について



問 はたして本当に必要か

芦刈 茂 議員

Q さいふまいりの道治道環境整備

備工事（市役所玄関前アプローチ）について、これほど大がかりなものをつくる必要があったのか伺う。

A 部長 事業内容としては、市庁舎北側の県道が江戸時代から続く太宰府天満宮詣で道として親しまれていることから、太宰府固有の歴史的な景観の再現と、さいふまいりの道の姿をイメージしてもらえような解説板などの整備

来庁者の利便性向上のための工事です。工事概要としては、①バス停や身体障がい者用の駐車場から雨にぬれることなく来庁できるよう、総延長約100mの屋根を設置。②歩行者用の手すりや視覚障がい者誘導ブロックの設置。③市民の憩いの場となるような空間創出のためのベンチ設置等です。総事業費としては、設計監理、工事及び消費税などを含め7700万円を予算計上し、国の補助金2695万円、交付税措置がなされる起債2425万5000円、がんばる地域交付金1800万円となり、市独自の負担は、779万5000円となっています。



質問項目

- ◇市役所玄関アプローチについて
- ◇総合体育館について
- ◇パブリックコメントについて
- ◇まち・ひと・しごと創生法について